

中国古典における脾病、小腸病、大腸病の概念について

高島文一

中国医学では、胃が食物を口から受けて、これを脾に降し、脾がこれを消化吸収して、その精微は昇って肺に至り、肺の宣散肅降作用により、全身をめぐるといふ概念がある。小腸、大腸という名称はあるが、現代医学における小腸、大腸の作用は、ほとんど脾の働きの中に包含されているようである。

一方、小腸病、大腸病、脾病という言葉が古典に出てくるので、古人がこれらの病をいかに理解していたかを考察しようとした。

一 『素問』、『靈枢』における記載

『靈枢』 邪氣蔵府病形第四

「大腸病」 腸中切痛して濯濯と鳴る。冬に寒さにやられると泄して臍のあたりが痛み、久しく立つことができない。

巨虚上廉を取る。

「小腸病」 小腹痛、腰と背中が痛み、臍丸が引きつる。手の太陽小腸経に沿って肩、手の小指のあたりに熱が出る。巨虚下廉を取る。

『素問』 蔵気法時論第二十二

「脾病」 身重く肌肉萎え、足収まらず、行けば、善く瘳し、脚下痛む、虚すれば腹満して腸が鳴る。瀉泄して食化せず。その経は太陰、陽明、小陰の血あるものを取る、又、日昃（午後二時頃）に慧きさく、日出に甚しく下晡（日暮れ）に静となる。写には苦を生い、補には甘を用う。

『靈枢』 五閱五使第三十七

「脾病」 唇黄

二 諸病源候論、外台秘要における記載は認められず。

三 『千金要方』における記載は認められず。

四 唐の孫子邈の『千金翼方』における記載

『千金翼方』 卷二十七 針灸中

「小腸病」 左手寸口の陽実の脈があると小腸は実である。心下が苦しく、急に熱が出て痺があり、小腸内熱、小便は赤黄となる。手太陽小腸経の中管（腕）の両辺、相去

ること半寸の陰都を刺す。灸は随年壯、小腸熱病を主る。臍を挟んで両辺相去る一寸を魂舎という。灸は百壯、小腸洩利膿血を主る。

「大腸病」大腸俞は腸中臏脹し、食不消化を主る。灸四十壯、承滿（巨闕を挟んで相去る五寸）は腸中雷鳴し相逐いて下痢するものを主る灸五十壯。他に治淡飲法として、結積留飲、胸滿、飲食不消に対して、上腕の外方一經の通谷に灸五十壯。

「脾病」脾俞は、四肢寒熱、腰疼きて俛仰するを得ず、身黃、腹滿、食嘔を主る。

治老大小便失禁法、大小便不通（灸臍下一寸三壯）、治大便難法（灸第七椎兩傍一寸七壯）、大便閉塞、氣結、心堅滿（灸石門百壯）、小便不利、大便數洩注（灸天枢百壯）

五 考察

『素問』『靈樞』では、陽明大腸經、太陽小腸經、太陰脾經という経絡を考え、その流注の腹部に位置する部分に臍腑の病症を考えている。「大腸病」は、腸全体の痛み、殊に臍の付近が痛む。取穴は陽明胃經の巨虚上廉を取る。

「小腸病」は、下腹部の痛み、腰痛がある。取穴は陽明胃

經の巨虚下廉を取る。「脾病」は全身の肉が痿え、四肢の運動が障害される。腹滿、腸鳴、殮泄など腹部全体の症状がでる。

『千金翼方』は、救急療法が主であるので、具体的である。

「大腸病」大腸俞に灸四十壯して、腸の臏脹、食物不消化を治す。上腹部の承滿、通谷に灸五十壯して、下痢、留飲などを治療する。これは横行結腸をめざすものと思われる。

「小腸病」臍の付近の陰都、魂舎に灸して、心下の苦痛、洩利等を治療す、小腸を臍を中心として考える。

「脾病」脾俞を用いて腰痛、腹滿、食嘔を治療す。大便不通に臍下一寸に灸する。大便難に背部第七椎兩傍一寸に灸する。大便閉塞に石門に灸百壯、小便不利、大便致洩注に天枢に灸する。このように背部、腹部全般に広汎に取穴している。

六 まとめ

脾は広汎な腹部の消化吸収機能を総括し、小腸は、臍を中心とした部分の機能を考え、大腸は、上行、横行、下行

結腸を考え、治療は横行結腸を主体として考えるようである。小腸、大腸の実体は観察しておりながら、経絡の立場から把握し、脾は五臓の一つとして観念的に消化吸収の主体と考えていたようである。

(京都府京都市)

国宝宋版『史記』扁鵲倉公列伝における幻雲注の引用医書について

関信之、小曾戸洋、真柳誠

国宝指定の『史記』南宋慶元黄善夫之敬室刊本(南化本)一百三十卷(国立歴史民族博物館所蔵)は、集解・索隱・正義の三注合本としてはもっとも古く、中国本土には佚して伝わらない。本書は『史記』の底本としても逸品であるが、そこに記された多量の書き入れもまた史記研究資料として第一級の価値がある。水沢利忠『史記会注考証校補』によれば、本書は鎌倉期には日本に将来されており、その後、公家社会の学問に代ってあらたに学問の主流になりつつあった五山の学僧の手に帰している。本書には数名の筆になる書き入れがあるが、そのほとんどは、幻雲(月舟寿桂、一四六〇〜一五三三)によるものである。幻雲の書き入れは、ことに扁鵲倉公列伝第四十五においては精密を極めており、各葉の間に数葉を綴入するほど細かく行われて